

令和7年2月4日 報道発表資料 川崎市(まちづくり局)

令和6年度川崎市優良建築設計者を表彰しました

川崎市では、市内の建築物を設計した、市内に主たる事務所がある建築士事務所または 建築士事務所登録をしている建設業等の法人等に所属している設計者等に対し、本市のま ちづくりの推進に資する取組を行った方々の功績をたたえ、平成28年度から表彰を行っ ています。

令和6年度は、新作小学校校舎増築工事において、当初の鉄骨造から木造に変更したこ とにより、コストの低減や工事中の騒音及び振動による授業への影響を低減し、市民サー ビスの向上が図られ、他の模範となる建築物の設計者である田設計事務所に対し、2月3 日(月)に、令和6年度川崎市優良建築設計者として表彰を行いました。

1 被表彰者

1 100	スチノロ				
	設	計者	1 名		対象となった設計業務
でル田設調	計事務所	t なべ 田辺	真一郎	様	・新作小学校の木造3階建ての校舎増築の設計及 び工事監理 ・中庭の限られたスペースに増築



左より 田辺氏、まちづくり局長

2 表彰理由 別紙のとおり

問合せ先:川崎市まちづくり局総務部庶務課 伊藤 電話 0 4 4 - 2 0 0 - 2 9 4 3

株式会社 田設計事務所 代表取締役 田辺 真一郎

本設計事務所は、1980年に設立され、川崎区小川町に所在し、主に建築物の設計・工事監理業務を実施している。

今回の受賞作品は、昨年度に工事が完了した、新作小学校の校舎増築である。

同小学校の中庭の限られたスペースに、校舎を増築する計画であり、敷地の出入り口が狭いことや、 今回の増築部分のそばには、擁壁が存在し高低差があるため、工事の際、重機の大きさや資材の搬入 が制限されることが想定される敷地であった。

建築物の構造の選定については、実施設計開始当初の鉄骨造から木造に変更した結果、建物の荷重が軽減されたことで、杭を使用せず地盤改良で対応し、また、大断面木材や特注の金物ではなく、一般的な流通材や接合金物を採用したことで、コストの低減を図った。

また、大型重機の使用等が軽減されたことで、騒音や振動の低減につながり、工事中における授業への影響の低減を図ることができた。

さらに、本市における「川崎市建築物等における木材の利用促進に関する方針」の取組に対しても 貢献している。

その結果、市民サービスの向上が図られ、他の模範となる建築物であると判断し、表彰するものと する。



